

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C
横断的な課題	「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり				
地域重点政策	「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり				
実施機関	佐久地域振興局		担当課	所属	環境・廃棄物対策課
事業名	ゼロカーボンライフスタイル普及事業			電話	0267-63-3166
				E-mail	sakuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	気候変動に向けた佐久地域の先進的な取り組みを一般県民が知り、環境に配慮した生活を体験する機会を設けることにより、ゼロカーボンなライフスタイルの普及を図る。			
	現状と課題	・昨年度事業の「佐久ゼロカーボンエリア(地域循環共生圏)創出に向けた体制整備・普及啓発事業」では、ゼロカーボン勉強会や市町村職員研修会を開催し、主に行政や企業の担当者が、ゼロカーボン推進の先進事例について理解を深めた。 ・昨年度事業では、温室効果ガスの排出量を削減する「緩和」をテーマとしたが、地球温暖化の対策には気候変動の悪影響を軽減する「適応」がある。 ・ゼロカーボンの推進などにより「緩和」を図ってもある程度の気候変動は避けられず、「適応」も不可欠である。 ・地球温暖化による高温は、佐久地域の主要な産業である農業、飲食料品、観光や、身近な人の健康に対し特に影響を及ぼすため、関係者のみならず一般の方の懸念も大きい。 ・気候変動の影響に備え、その被害を軽減し、よりよい生活ができるよう、佐久地域の特性に応じた「適応」に関する意識を高め、ゼロカーボン推進の意義を広く一般に再認識する機会が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	○一般向けのゼロカーボンミーティングを開催 初の取り組みとして、ゼロカーボンに取り組む有識者による、「気候変動に対してどう備えるか」をテーマに、佐久地域の未来を考える講演及びパネルディスカッションを行う。 特に、佐久地域における気候変動に備え、地域の特性を活かせるような未来のための「適応」を考える機会とする。 日時:令和6年2月16日(金)午後1時30分から午後4時まで 場所:佐久合同庁舎講堂 事業内容:基調講演、パネルディスカッション 参加者:一般県民及び管内関係者			
	事業期間	令和6年1月		～	令和6年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	ゼロカーボンミーティング	講演やパネルディスカッションを開催	56,661		
	合計		56,661		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	ゼロカーボンミーティングの参加者数		30人以上	89人	● 達成
					○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	【実績】 ・「気候変動の現状」をテーマに、テレビ信州報道制作局 気象予報士・防災士の鈴木智恵氏によるリモート講演のほか、「気候変動への適応」をテーマに、長野県環境保全研究所 自然環境部 温暖化対策班 主任研究員 浜田 崇氏による講演を実施。 ・パネルディスカッションでは、農業、学校現場、観光、酒造の分野から4名のパネラーが参加した。				
	【成果】 ・鈴木氏の講演により、地球温暖化が及ぼす影響を改めて認識するとともに、個人ができるゼロカーボン推進としてどのようなものがあるか再認識するきっかけを与えることができた。 ・浜田氏の講演により、参加者が佐久地域における気候変動の状況を数字で認識できたほか、農業分野等における温暖化への適応技術の開発等を紹介し、「適応」への意識を高めることができた。 ・パネルディスカッションの中では、特に佐久地域で関心のある農業や観光の分野での議論が活発に行われ、参加者の理解を深めることができた。				
今後の方向性	温暖化問題について自分ごととしてとらえられるよう、引き続き、ゼロカーボンライフスタイル普及事業(地域振興推進費事業)などにより、ゼロカーボンの推進を図る。				